

台風21号の通過後の農作物等の管理対策の徹底について

平成29年10月23日
福井県農業総合指導推進会議

1 共通事項

- ・大雨がおさまった後でも、増水した水路等の危険な場所には近づかない。
- ・大雨後の畦畔や法面は崩壊しやすいので注意する。
- ・大雨により冠水や浸水している場合は、排水溝を掘り直すなど排水対策を徹底する。
- ・通過後、適時適切な病害虫防除に努める。

2 施設園芸等

- ・施設、機器の点検を行い、破損している箇所は早急に修繕する。
- ・冠水した場合は、排水ポンプや溝切り等により、速やかに排水する。
- ・ハウス内の適切な温湿度管理に努める。
- ・摘果・摘葉、追肥、液肥の葉面散布により生育の回復に努める。
- ・土壌表面が固くしまった場合は軽く中耕し、表土の通気をよくする。

3 大麦・大豆・ソバ

- ・大麦は圃場の停滞水を速やかに除去し、ほ場が乾いたら早急に播種作業を行う。
- ・大豆は停滞水を速やかに除去し、子実水分22%を確認し、圃場が乾燥した状態で収穫作業を行う。
- ・ソバは福井平坦部の8月上旬に播種の場合、週明けが刈取り適期となる見込み。台風通過後に圃場の停滞水を速やかに除去し、黒化率が70～80%になったら速やかに収穫作業を行う。

4 野菜(露地)

- ・圃場の停滞水を速やかに除去し、ほ場を乾かす。
- ・根元が露出している場合は土寄せを行う。
- ・追肥、液肥の葉面散布等により生育の回復に努める。
- ・病気にかかっている株は、被害の拡大を防止するため、直ちに抜き取り圃場外に廃棄する。
- ・適宜、防除を行う。

5 果樹

- ・倒木した場合は速やかに立て直し、支柱等にくくりつける。
- ・枝が裂けた場合は傷口を合わせ結束する。折れた場合は切り戻す。
- ・いずれの場合も癒合剤を塗布する。
- ・傷果等の選別を徹底する

6 花き

- ・強風により傾いた花は、茎や花の曲りを防止するため、早急に立て起こす。
- ・株腐れや根腐れを防止するため、通路の排水を行う。

7 畜産

- ・畜舎等が浸水した場合は、すぐに排水し、疾病予防のため洗浄・消毒し、乾燥に努める。
- ・牧草地で侵食や土砂流入が発生した場合は、早急に現状復帰を図り、生産力回復の必要があれば牧草の播種等を行う。